

① 都市空間形成の基本的考え方

1 自然環境との共生都市の形成

本市の豊かな自然環境や歴史文化などの資源は、だれもがゆとりある暮らしや価値ある人生を実感できる自立した都市を形成していくうえで重要な基盤となっています。

一方、地球環境問題が深刻化する中、生存環境を持続させる経済の成長と資源循環型の社会システムの構築が大きな課題となっています。

このため、新たな自然的環境の創出も含め、自然環境と共生した都市空間づくりを積極的に促進し、環境に調和した持続的発展と資源循環型の都市形成を目指します。

2 多核連携型都市形成とネットワーク化

本市に求められている高度で快適な都市機能を確保するためには、静岡都心、清水都心、東静岡都心の3つの都市核が特性に応じて都市機能を分担し、都市の個性の発揮とその相乗効果による都市活力を創出するとともに、既成市街地やその周辺にコンパクトな拠点を整備し、それらを交通や情報通信ネットワークで結んだ多核連携型の都市を形成していく必要があります。

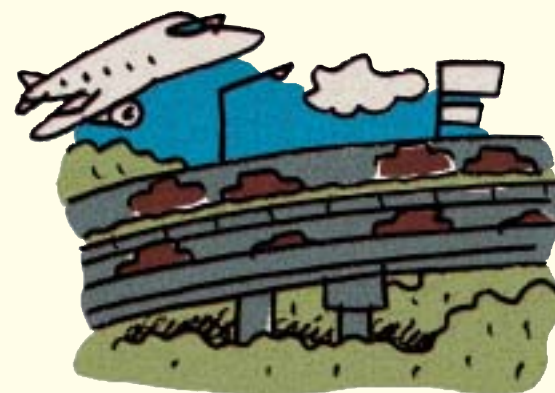
このような、多核連携型都市の形成により都市全体の総合力の向上をはかり、高度で充実した機能を楽しむ都市の形成を目指します。

3 周辺都市との機能連携強化および広域ネットワークの充実

本市は、県都として、また、人口100万を超える静岡都市圏の中心都市としてリーダーシップを発揮していくとともに、周辺都市との連携を強化していくことが求められています。

このため、静岡都市圏の交通網などの整備により連携基盤の充実した都市空間形成をはかっていきます。また、広域高速道路網や高度情報通信基盤の充実、静岡空港の整備は、交流機会の拡大をもたらすことになり、交流相手としての都市の魅力づくりが大きな課題となります。

そこで、自然や歴史文化に支えられた本市の地域資源の活用と発掘による個性ある環境づくりを促進するとともに、伝統文化に先端技術などを付加した高付加価値産業の創造を促進する都市形成を目指します。



② 都市空間連携軸の形成

1 広域都市環状軸

周辺都市との連絡をさらに強化し、広域間の交通渋滞の解消や広域交通としてのすぐれた走行性を確保するため、高規格幹線道路や都市計画道路、公共交通などによる広域都市環状軸の形成を促進します。

2 多核機能連携軸

3つの都市核間における機能連絡を強化するため、都市計画道路や公共交通などによる多核機能連携軸の形成を促進します。



3 東西発展軸

多核機能連携軸の補完と東西の交流の機能強化のため、都市計画道路や公共交通などによる東西軸の形成を促進します。

4 南北発展軸

山間地や海岸部と市街地の連携強化および拠点地相互の連携強化のため、主要地方道や都市計画道路などによる南北軸の形成を促進します。

5 市街地放射状軸

都心部と拠点地の連携強化のため、都市計画道路などによる連携軸の形成を促進します。

6 市街地環状軸

市街地周辺部などに計画的に整備された都市拠点の中心部と拠点地の連携強化のため、都市計画道路などによる連携軸の形成を促進します。